

ふらぐ

この世界には
ロマンがある

¥0
TAKE FREE

Amazon
ギフト券

500円分が当たる!!

詳しくはウラ面を
ご覧下さい。

目からのうろこ!
特別編

プレイバック
目からのうろこ
〜2014年から2020年まで〜

新作漫画! 第1話!!

気軽に参加できる
市民活動・
ボランティア体験
プログラム
ふらみさんに相談したら
いいんじゃない!?

ふらみさんに 目撃談したら いいじゃない!?

第1話

「気軽に参加できる市民活動・ボランティア体験プログラム」

ここは
メイトム宗像
NPOセンター

今日も悩める
市民が
相談に来ます



ナツコさん
ハンドメイド作家

子どもに手が
かからなく
なったし！
空いた時間で
地域に触れる
活動が
何かできんっ
ちゃろか

では
プログラムに
ついて
ご説明
しますね！

分かり
ました!!

ふらみさん
NPOセンター
スタッフ

どんな内容か
知りたくて

それで
この
フレットを
見たんですが

いろいろな
分野の活動が
あるんですね！

● 読み聞かせ ●



「誰かの力に
なりたいたい」
そう想う人の
背中を後押しする
プログラムです

「市民活動・
ボランティア
体験プログラム」
とは

オホン!

● 手話 ●



● 点字・点訳 ●



この
プログラム
は?
これは
ですね

子育てサロンでの
親子の見守りや
学習支援が
あります
平日が
ご都合
いいですか?

子どもの
成長に
かわる活動に
関心が
あります

子どもと
遊ぶのが
好きなの
で

ナツコさんは
どんなことに
関心があり
ますか?

CHECK
POINT

関心のある分野・体験できる日時などをもとに、あなたに合わせたプログラムをご提案します!

教えて!ふらみさん

漫画の中に出てくる
事柄や用語を紹介



宗像市 市民活動・ボランティア 体験プログラムの紹介

漫画中の体験の他にも、例えば以下
のようなプログラムがあります。

NPO法人 改革プロジェクト

海岸清掃やパトラン(防犯パトロール)を
通して地域活動に触れる体験をします。



参加した人の声 / 30代主婦

自分にもできることがあるんだということに
気づきました。何より親子で楽しむことが
できて良かったです。宗像の海をきれいに
することで子どもを連れてもっと海へ遊び
に行きたい!という気持ちが芽生えました。

ひょっとこ楽座 アンディアーモ

ひょっとこ踊りや民謡の習得、ギターなど
の楽器の演奏を一緒に体験します。



参加した人の声 / 50代女性

上演などを通して高齢者へ元気を届ける
活動に共感しました。特に伝統芸能の
ひょっとこ踊りは、見ていだけで心が躍
り、私もやってみたくくなりました。

問合せ先

宗像市 市民活動・NPOセンター
[運営] 一般社団法人 PENTAGON
TEL: 0940-36-0311 (平日9:00~17:00)
MAIL: info@pentagon67.com

お気軽に
お問い合わせ下さい。

詳細はこちら



※新型コロナウイルスの影響により、体験受
入団体の活動再開時期は異なります。まずは
NPOセンターまでご相談下さい。





三つ子の子育て



健康づくりのための運動教室



保育園の子どもたちと

Vol.09

ひとまち交差点

宗像のまちで秘かに活動する魅力的な人。
その「ひと」が「まち」と出会い、交わるきっかけを、
ふらぐ編集部のアンドウが取材してきました。



ふらぐ編集部
アンドウ



ふらぐ編集部
しぎょう(育休中)

現在、運動指導のために週3回北九州市から

宗像市まで通っている竹村さん。実は以前、約

10年間宗像市に住んでいたという。当時の「出

会い」が今の竹村さんの活動に大きな影響を

与えたというが、それは…!?

アンドウ：健康運動指導士として活躍している

竹村さんの原点を教えてください。

竹村さん：大学のゼミで「健康づくりのための運動指導」と出会ったことです。おしゃべりしながらジョギングしたり、音楽に合わせてダンスしたり。ポイントは、自分にとってきついことはしない

「ニコニコペース運動」。当時の私は、運動とは厳しい練習を重ねて結果を出すものというイメージを持っていました。「こんなに楽しくて、さらに健康になれる運動があるなんて」と衝撃を受けたことを覚えています。そして、このことをより多くの人に伝えたいと考えるようになりました。

アンドウ：大学卒業後は、埼玉県所沢市にある国立障害者リハビリテーションセンター学院に進学されたんですね。

竹村さん：私は当時から健常者も障がいのある方も関係なく、一緒に楽しく運動したいと考えていました。ハンディキャップを抱えているからできないんじゃないかと、その人なりの楽しみ方ではないかなとできるようにしたいと。そこで、さらに知識を深めるために進学。その後福岡県に戻り、県の

福祉施設や宗像市のアクアドームで障がいのある方をはじめ、さまざまな年齢層の方へ運動指導を行う仕事に携わりました。

アンドウ：4人のお子さんのお母さんでもある

竹村さん。結婚・出産を機にライフスタイルはどう変わりましたか？

竹村さん：最初の妊娠が三つ子だったんです。出産のため当時勤めていたアクアドームは辞めましたが、産後1年も経たないうちに子どもたちを保育園に預けて、個人で仕事を請け負い働きはじめました。

アンドウ：三つ子の育児と仕事の両立は大変ではありませんでしたか？

竹村さん：ありえないくらい大変でした。でも、誰かの手を借りたいと思っていた時、アクアドームで働いていた頃に出会ったアルバイトの学生さんが友達を紹介してくれて。平日保育園が終わってから寝かしつけまでの2〜3時間、三つ子のお世話にきてくれることになったんです。その後も友達や後輩の紹介を通じて、三つ子が2才半になるまでの約2年半、次から次へとたくさんの方が手伝いにきてくれました。人と人とのつながりに本当に助けられたと感じています。学生さんが当時の育児記録を書き留めてくれたノートがあるんですが、それは私の宝物です。

アンドウ：宗像市の市民活動団体に活動されていたそうですね。

竹村さん：これから人との出会い、そしてつながるご縁に感謝しながら、まだ届けられていない人たちに運動の楽しさを伝えていきたいと思っています。

竹村 亮子さん
健康運動指導士



熊本県八代市出身。北九州市在住の4児のお母さん。剣道六段。県内各地の市町村で、体を動かす楽しさを幅広い年代に伝えている。短大や専門学校などで非常勤講師としても活動。好きな言葉は「迷ったらGO!」。

竹村さん：多胎児やハンディキャップのあるお子さんをもつお母さんをサポートする「プリズム」という団体ですね。北九州市に住み始めてからですが、私は講師として活動していました。自分の特技や人とのつながりを活かして、講座を開いたり、宗像市と北九州市で映画を上映したり。いろいろやりましたね。団体は解散しましたが、当時のメンバーは今もそれぞれの場所で活動を続けられています。

アンドウ：今後もさらに活躍の場を広げていきそうですね。

竹村さん：これからも人との出会い、そしてつながるご縁に感謝しながら、まだ届けられていない人たちに運動の楽しさを伝えていきたいと思っています。

“あなたにとっての交差点は、どこですか？”

“三つ子の子育ても通じて、人と人とのつながりに助けられたことです。”



プレイバック目からのうろこ

〜2014年から2020年まで〜

目からのうろこは連載をスタートして20回(前身のコーナーを入れると26回)地域や団体の事例を紹介してきました。今回はその歴史と取材先を担当してきた、立花と安東で振り返っていきます。



1〜14回目担当
立花



15〜20回目担当
安東

立花：あつという間に6年が経過しました。今回は20回目ということで特別編として、目からのうろこを担当してきた僕と安東さんで過去を振り返りたいと思います。振り返ってみるといろいろと取材させてもらっていますね。僕が14回目までを担当して、15回目以降が安東さんが取材を担当するようになりました。

安東：私はふらぐに途中から関わるようになったので詳しくはわからないのですが、目からのうろこはどうやってスタートしたんですか？

立花：ふらぐはもともとメイトムニュースというメイトムの情報を発信する媒体でした。ふらぐへのリニューアルのタイミングで読者やテーマを見直すことになって、いろいろな地域の事例を紹介するコーナーをつくらうということで「目からのうろこ」がスタートしました。外部の方にも製作に関わってもらうことでデザインもぐっと良くなりました。

安東：立花さんの中でこれまでで印象に残っている取材先はありますか？

立花：これまでの人生で取材して記事にするという経験もなかったので、一番最初に伺った徳島の上勝町はあたふたしながら取材していました。当時はコミュニケーションという言葉をよく耳にしていた、その先進事例として取り上げられていた

のがこの葉っぱビジネスでした。取材をしていて、隣町もすごいというところで、神山町にアポなしで訪問したら仕掛人である大南さんが時間を



を割いてくれて。突撃にも関わらず気さくにいろいろ聞かせてくれたことも思い出深いですね。

安東：この頃はタイトルが目からのうろこではなかったんですね。

立花：当初は違いました。もっとフランクにとつきやすいタイトルで良いかなと思って、取材してよく感じていたことをそのままタイトルにしてみました。

安東：当時の苦労話などありますか？

立花：連載から10回目くらいまでは、2ヶ月に1回の発行でしたので、取材の原稿まとめや取材先の選定などは苦労しましたね。割と好き勝手いろいろな地域に足を運んでましたので。ふらぐ自体をリニューアルするタイミングで、年4回の発行となり、記事の紙面も2ページ増になって書ける内容も増えました。

安東：確かに2ページだと盛り込める情報も多くなつてより深く紹介できますよね。

立花：ふらぐ20号「よさこいチーム流」までが2ページでしたが、「となりのふらちゃん」の連載がスタートしたことで1ページとなったんですよ。ここからは主に宗像で活動する団体に焦点を当てて紹介するようになりました。

安東：取材先が宗像市の団体になったのは理由があったんですか？

立花：読み手にとってふらぐがもっと身近に感じられる媒体であればいいなと思ったことですね。連載当初は、目新しい媒体にしたいと思って、全国各地の先進事例に焦点を当て紹介していました。取材を進めていくうちに、それらの事例には、その地域それぞれに根付く文化やライフスタイルが影響して形作られていることを学んだんです。先進事例は雑誌やWEBメディアなどでも

あんどう ようこ
編集委員 安東 陽子

たちばな ゆうへい
編集長 立花 祐平

宗像市生まれ。2014年の創刊号からふらぐの編集に携わり目からのうろこを担当。2016年の紙面リニューアル時に編集長に就任し、取材記事や全体構成を行う。一般社団法人PENTAGON代表、認定NPO法人改革プロジェクト代表。



福岡県生まれ。学生時代を香川県で過ごした後、福岡へ。2018年よりふらぐの編集に携わり目からのうろこを担当。今号からひととまちとの交差点を担当する。育児と両立しながら市民活動団体を情報発信の面からサポートする。



NOW

PAST

FUTURE

たくさん取り上げられていますし、ふらぐで紹介しなくても良いと思うようになって。それよりも、人知れず地道に頑張っている人や活動をピックアップすることが、ふらぐの目的にも沿っているだろうと取材対象を宗像の団体に変更したんです。身近な事例を紹介することによって、アンケートでも、目からのうろこの情報が参考になったなどの声もいただくようになったのは嬉しかったですね。

安東：たしかに、宗像市の団体を紹介するようになって、「遠い存在だと思っていた市民活動がより身近に感じられるようになった」との声を市民の方からいただくようになりましたね。

立花：温度感を合わせることは大事ですからね。安東さんは取材で心がけていることなどありますか？

安東：私は、団体活動の表に見えている部分だけでなく、実際に活動をしている方々の心の中にある「想い」を読者の方に伝えたいと考えています。だから「なぜその活動をはじめたのか」「なぜ今その活動を続けているのか」など、そこにはどんな「想い」があるのかを深く伺うよう心がけて取材してきました。

立花：次回の秋号からは安東さんからのバトンを受けて、再び僕が目からのうろこの取材を担当することになります。安東さんの言うように、取り組みの想いに寄り添った内容を意識して取材続けていきますね。ページ数も少し増えますし、これまでとはまた違った視点や切り口の情報を、読者の皆さんにお届けできるように頑張ります。

次号から
よろしく
お願いします！



わがっ
たばい！



「目からのうろこ」これまでの取材先

地域げんき最前線(2014年～2016年)

1. 上勝町の葉っぱビジネス(徳島県上勝町)／ふらぐ創刊号
2. マルヤガーデンズ(鹿児島市)／vol.2
3. NPO法人 新聞環境システム研究所(福岡市)／vol.3
4. NPO法人 グリーンウッド自然体験教育センター(長野県下伊那郡)／vol.4
5. 秘密基地(北九州市)／vol.5
6. カナエール福岡(福岡市)／vol.6

目からのウロコ(2016年～2020年)※()がないものは宗像市内の団体

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1. Good NEWS(久留米市)／vol.7 | 11. 福津市畦町の伝統文化(福津市)／vol.19 |
| 2. 面白法人カヤック(鎌倉市)／vol.8 | 12. よさこいチーム流(糸島市)／vol.20 |
| 3. 九州大学iTOP(糸島市)／vol.9 | 13. 岬のね～ちゃん／vol.21 |
| 4. わいわいコンテナプロジェクト(佐賀市)／vol.10 | 14. ゆめタウン宗像／vol.22 |
| 5. 島根県雲南市(雲南市)／vol.11 | 15. ごみ住連／vol.23 |
| 6. まちライブラリー(大阪市)／vol.13 | 16. 海の道むなかた館 地域学芸員／vol.24 |
| 7. 認定NPO法人 SOS子どもの村JAPAN(福岡市)／vol.15 | 17. 自由の森遊歩道を守る会／vol.25 |
| 8. NPO法人 あすも特注旅行班(福岡市)／vol.16 | 18. 河東小学校おやこの会／vol.26 |
| 9. 田久有志の会／vol.17 | 19. 理科読風ぐるま／vol.27 |
| 10. じょうもんさん会／vol.18 | 20. 母活クラブMANA／vol.28 |



田久有志の会の記事



葉っぱビジネスの記事



わいわいコンテナプロジェクトの記事

アンケートプレゼントコーナー

**Amazonギフト券
500円分をプレゼントします。**

右記QRコードまたはURLからアンケートに答えていただいた人に抽選で、Amazonギフト券をプレゼント！当選者の発表は8月上旬、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

抽選で
4名

応募締切は
2020年7月31日(金)
アンケートはこちら!!
<http://urx.blue/au4w>



※秋号からは地域で使える商品券などを予定しています。

¥0 TAKE FREE



PENTAGON 宗像

<https://pentagon67.com>

ふらぐバックナンバーはこちらから！

